

接続詞

[文章]

Amazon 新書

文章は接続詞で決まる (光文社新書)

この本のまとめ

タイトル通り、一読するだけでも、文章の論理構成を明確にし、また文章の幅を広げるのに役立つ。

頭の中が混乱している状態で、文章を考えながら書いているとはちゃめちゃになりがちだが、接続詞を意識することで、かなり構造が明確になる。

たとえるなら、スパゲッティーなソースコードがリファクタリングされる感じ。

日本語で読み書きされる方にはお勧め。

四種十類

1. 論理の接続詞

1. 順接

- ・「だから」系
- ・「それなら」系

2. 逆接

- ・「しかし」系
- ・「ところが」系

2. 整理の接続詞

1. 並列

- ・「そして」系
- ・「それに」系
- ・「かつ」系

2. 対比

- ・「一方」系
- ・「または」系

3. 列挙

- ・「第一に」系
- ・「最初に」系
- ・「まず」系

3. 理解の接続詞

1. 換言

- ・「つまり」系
- ・「むしろ」系

2. 例示

- ・「たとえば」系
- ・「とくに」系

3. 補足

- ・「なぜなら」系
- ・「ただし」系

4. 展開の接続詞

1. 転換

- ・「さて」系
- ・「では」系

2. 結論

- ・「このように」系
- ・「とにかく」系

論理の接続詞

- ・前後の文脈を条件関係によって、関連付ける
- ・読み手の推論を限定
- ・文章の論理性や説得力を高める

順接

系統	説明	備考
だから	原因 - 結果の橋渡し	前提内容は読み手が理解している内容
それなら	仮定をもとに結果を考える	「それでは」「すると」「そうすると」「そうしたら」「だとすると」「だとしたら」、否定形として「そうしないと」「そうでないなら」「さもないと」話し言葉中心、用法に大差なし

逆接

系統	説明	備考
しかし	書き言葉での使用頻度多	ジャンルを問わない、安易に使われがち
ところが	強い意外感	「ところが」「にもかかわらず」「それなのに」「なのに」「そのくせ」うまく使うと文章に奥行きと広がり

整理の接続詞

- ・類似の内容が対等に並んでいることを示す
- ・複雑な内容を整理、分類する

並列

系統	説明	備考
そして	便利な接続詞、話をあとから付け足していくことができる	「そして」「それから」「また」
それに	既に示したものに重ねる感じの強いもの	繰り返し使用できない「それにくわえて」「そればかりか」「そのうえ」「しかも」「ひいては」

かつ	論理を重視した厳しい感じ	「かつ」「および」「ならびに」
----	--------------	-----------------

対比

系統	説明	備考
一方	2つの物事の相違点に注目し対立を表す	「一方」「他方」「それに対して」「反対に」「反面」「逆に」

列挙

系統	説明	備考
第一に	並列の接続詞に番号付け(1)、文章のなかの箇条書き	「第二に」「第三に」・・・
最初に / はじめに	並列の接続詞に番号付け(2) 順序を重視	「つづいて / ついで」「その後」
まず	並列の接続詞に番号付け(3) 列挙のオールマイティ	「つぎに」「さらに」

理解の接続詞

- ・読み手にとって不足している情報の補填を予告する
- ・先行文脈の内容を分かり易く、イメージ豊かに

換言

系統	説明	備考
つまり	端的な言い換えで切れ味	「つまり」「すなわち」「要するに」「いいかえると」「換言すると」「いわば」「いってみれば」
むしろ	否定することで表現を絞る、先行文脈を否定的に受け、後続で肯定	「むしろ」「かえって」「そうではなく」「否」「とういより」「というか」「かわりに」「そのかわり」

例示

系統	説明	備考
たとえば	抽象と具体の往還を助ける	「たとえば」「具体的には」「実際」「事実」

補足

系統	説明	備考
----	----	----

なぜなら	ここからが理由だということを予告	「なぜなら」「なぜかという」と「だって」「なにしろ」「なにせ」「というのは」「というのも」
ただし	補足的だが、理解に役立つ情報が続く	「ただし」「もっとも」「なお」「ちなみに」

展開の接続詞

- ・話の本筋を切り替えたりまとめたり
- ・文書全体を大局的に捉える
- ・文書をとおして、書き手の言いたいことを伝える

転換

系統	説明	備考
さて	周到な準備のもとさりげなく使用	「さて」「ところで」「それにしても」「それはそうと」「それはさておき」
では	話の核心に入ることを予告	「では」「それでは」「じゃあ」

結論

系統	説明	備考
このように	素直に文章をまとめる	「このように」「こうして」「かくして」「以上」「結局」
とにかく	強引に結論へと急ぐ	「とにかく」「いずれにしても」「いずれにしる」「どっちにしても」「どっちみち」

文末の接続詞

- ・文末で構造化に貢献
- ・接続詞に準じる

否定

系統	説明	備考
のではない	読み手の心に疑問を生む	
だけではない	ほかにもあることを予告	「だけではない」「ばかりではない」「にかぎらない」「にとどまらない」

疑問

系統	説明	備考

か	後続で、答えが得られるだろう という予測に結びつく	「か」「のか」「のだろうか」
---	------------------------------	----------------

説明

系統	説明	備考
のだ	先行文脈との関連性を示す、文 章のながれにタメをつくる	「のだ」「わけだ」「のである」 「のです」「の」「んだ」「んで す」
からだ	理由をはっきり示す	「からだ」「ためだ」

意見

系統	説明	備考
と思われる	「私」の判断に必然感を加える	「と思われる」「と考えられる」 「と言える」
のではないか	慎重に控えめに提示する	「のではないか」「のではないだ ろうか」
必要がある	根拠を示した上で判断に至る	「必要がある」「べきである」 「なければならない」「てはなら ない」